

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩心 会 発行

11年 7月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 131名 192名 33名 356名	11年 7月 (324号) 発行者 千葉岳関 編集者 白井岳麗
--	------------------------------------	---------------------------------------

行事予定

○高段者審査課題講座

皆伝、九段、十段、正師範

講座日時・11年9月5日(日) 9時受付

場 所・横浜市栄公会堂

☎〇四五―八九四―九九〇―

携帯品・課題テキスト或いは教本、

吟道手帳、筆記用具

受講料・千五百円 8月10日迄に許証

部長まで納入して下さい。

納入後の返還は一切いたしません。

昼食は各自で用意して下さい。

その他の注意事項

受審者は必ず受講のこと。止むを得ず受

講できない方は、必ず理由を添えて申し

出て下さい。受講取り消しの場合も早め

に連絡して下さい。

連絡先

千葉会長 ○四六八―七三―四五八五

許証部上村 ○四六八―七五―三三九七

FAXも同じ

会場案内・JR本郷台駅から9分

・大船方面からバス停(公田)1分

・上大岡、金沢方面バス停

天神橋下車2分

全国優秀吟者神奈川県予選会会場が決定しましたので、お知らせいたします。

日時・9月26日(日)

会場・横須賀商工労働センター

☎〇四六八―二七―一五一―

交通・京急横須賀中央駅から徒歩7分

JR横須賀駅から市役所廻り市内循環

バスで日の出町下車、徒歩2分

碩心会にとって朗報をお知らせいたします。

この度7月1日付けをもって、左記お二方の

先生が上席師範に昇格されました。

千葉 岳関 会長

加藤 岳洵 先生

お喜び申し上げます。

10月18日(日)全国大会(名古屋市公会堂)に
 左記の方々が参加いたします。

加藤岳洵 中村岳愛 松井正岳

矢嶋岳悦 白井岳麗 上村岳章

舟渡舟岳 鈴木江岳 川瀬慧岳

以上9名



寒河江吟行会を終えて

副会長 松 井 正 岳

平成7年の寒河江吟友会との姉妹提携十周年記念吟行会から早や四年。交流以来14年目。碩心会会長以下会員の一部より要望があり、区切りとしてはあまり良くない時期での吟行会を企画部に依頼した。

今回の吟行会は結果的に大成功に終り、企画部始め参加者のご協力があったからこそと感謝申し上げます。常任理事会で企画承認を頂き、早くから寒河江吟友会卯月岳儒会長並びに志田昌岳事務局長と連絡を取り合い、準備に手間取りましたが、皆様に大変喜んで頂き企画部共々私自身嬉しく思っております。

忘れてならないのは、吟友会の皆様の献身的な歓迎を受け、純粹な気持ちでもてなしをして下さったことです。毎回終わった後で又借りが出来たという思いを深くします。

詩吟の森の吟魂碑、二本松の碑、行きたびに父岳洋の墓参りをしたように思います。

今度は山形吟友会の皆様がこちらへ来られるときがあると思いますが、どうぞその折はよろしくご協力下さるようお願いいたします。



寒河江吟行会に参加の楽しそうな皆さん

〈嗚呼二本松少年隊の碑の前で〉

6月27日(日)第21回碩心会温習会における連吟コンクールで、左記の方々が入賞しました。

- 第一位 逗子A 村井知子、駒場咲子
 - 第二位 幸 和 河田好枝、福田喜枝子
 - 第三位 逗子A 田中好子、森久美子
 - 第四位 真 澄 佐藤由紀子、高橋之子
 - 第五位 吟 秀 加藤芳子、佐野ミサコ
- 皆様おめでとうございました。

第二回夏季吟道講座「熱き吟声で」

教務部 杉 山 岳 雪

天候に恵まれた去る7月10日(日)第二回碩心会吟道講座が開催されました。127名の受講申込みがありました。

会長挨拶につづき一時限がはじまりました。会員の皆さんはもう真剣です。詩を愛し吟ずることが大好きという心が大きな一つの和になって講師の先生に届くのです。先生方も大変で、頭上から幾つかのライトを浴びて全身汗びつしより。受持の限られた時間内でまとめて終る。これは大変なエネルギーの消耗です。それでも先生方はそれぞれの個性また指導力を充分に発揮され、時間の過ぎるのも早く感じました。午後3時頃には受講者の皆さんも少し疲れの出る頃ですが、声は一段と大きく最後まで講師と受講者が完全に一つになった吟声が強く会場に流れました。

最後は総本部で収録されたという新体詩「希望」のテープが流され、静かな余韻を残して今日一日の講座を終了しました。

第二回碩心会夏季吟道講座開かれる

宇都宮 徳 岳

去る7月10日(土)梅雨の合間の晴天に恵まれ、図書館ホールにおける第二回夏季吟道講座が受講者 名の参加を得て、9時25分から開講式が行われた。

千葉会長の「前回と同様高段者と初心者の段位を問わずに一堂にて研修することにした処、各講師の先生がその目的に添った教材を選んでくれていますので、どうかこの講座の中から岳風流の真髄を感得されるように」との挨拶があり、引続いて講師の先生の紹介がなされた。各講師と教題は次の通り。

- | | |
|-----|-----------------|
| 第一講 | 講師 村 田 岳 瀨 |
| 絶句 | 早に深川を発す 平野金華 |
| 和歌 | 海 菅原道真 |
| 第二講 | 講師 中 村 岳 郵 |
| 古詩 | 舟艇守の尺八 大野孤山 |
| 第三講 | 講師 松 井 正 岳 |
| 古詩 | 歌入り 曾我兄弟 川口月城 |
| 第四講 | 講師 中 村 岳 愛 |
| 俳句 | 瘦蛙 (一茶) 古池や(芭蕉) |
| | 閑さや(芭蕉) 雪五尺(一茶) |

奥州高館にて(芭蕉)
とんぼつり (千代女)

第五講 講師 加藤 岳 相

和歌 伊豆の海 源 実朝

律詩 一乗寺に遊ぶ 伊藤仁斎

第六講 講師 千葉 岳 関

新体詩 希望 土井晩翠

各講師の先生方はいずれも充実した一流の指導を熱意をこめて行い、受講者もその熱意に引込まれ師弟一体となり、割当ての50分が足りないと思われる魅力ある講義が続いたが16時に閉講式が行われ、成功裡に夏季講座を終了した。受講者は皆満足感に胸を脹らませて帰途についた。

夏季吟道講座に参加して

逗子A 舟 渡 舟 岳

第二回碩心会の表題の講習会が7月10日(土)に開催された。教務部長の杉山岳雪先生の司会進行で始まり、講習に参加した会員の労もねぎらわれた。

会場の受講生は私語もなく、肅として講師を迎えました。当日のことは重複を避けて、次の私の所感を述べさせていただきます。

幼時の頃、母親より聞いた子守唄や、低学年時の童謡、或は唱歌の豊かな詩情には感動が甦ります。吟詠は情操教育の一端であって青少年の頃から、過去の偉人の業や、春夏秋冬の美しい日本の風景を詠んだ詩を普及させれば、興味を持つ青少年が現われることと信じます。現在は高齢化社会になって、熟年、高齢の人ほど安らぎと生甲斐を求めますが健康維持のため、詩吟は生涯学習となり、対人間関係に親しみを増し、融和な生活に役立ちます。

会員増強には焦らず、毎月一教場に一人宛てを勧誘する心構えで望むということは如何でしょうか。

今回の講師先生は、松井正岳先生のほかは平均年令八十の坂を越えられ、声量豊かで氣迫に正倒されそうでした。

受講生は精一杯に聞き漏らさぬよう緊張しその連続は私一人ではないと思います。

最後に第二回吟道講座を受けた感動を新たに、今日の成果をこれからの研鑽の糧として生かし、互いに切磋琢磨をして行きたいと思えます。

第七回神奈川地区吟道大会終る

白井 岳麗

去る6月20日、第七回神奈川地区吟道大会が「エポックなかはら」に於て開かれました。各参加団体により、会場は熱気あふれる中、大会次第によって進行、当日の庄巻は連吟と合吟のコンクールでした。

異常なまでに静まりかえった会場で練習結果が充分に出せたグループ。また少しいことで賞を逃した人達。わが碩心会からも連吟と合吟の各一題づつの熱吟がありました。残念ながら賞には残れませんでした。一生懸命に練習されての参加。ご指導下さいました先生、出演された皆さんに拍手を送りましょう。次の機会に向って頑張ってください。

最後は川崎周辺を主題にした構成吟で、スライドにより写しだされた句碑にあらためて新しい発見をいたしました。当会からも京愛先生の詩舞、西川幸岳先生の俳句で参加し、その他合吟の出場がありました。

最後にコンクール結果の成績発表があり、佐藤岳統先生の万歳三唱で幕が下りました。長い一日お疲れ様でした。

コンクールの入賞は次の通りです。

連吟の部

合吟の部

一位 さがみ岳風会 一位 町田吟道会

二位 さがみ岳風会 二位 綾瀬幸吟会

三位 横南吟道会 三位 正心吟道会

四位 聖吟会 四位 聖吟会

五位 横朗吟道会 五位 金沢岳風会

次点 岳統吟詠会 次点 横南吟道会

連吟、合吟の各々優勝のグループが10月17日

全国大会（名古屋）に神奈川県代表としてコ

ンクールに出吟されます。

皆さんで声援を送りましょう。

第1回碩心会吟道温習会に参加して

堀内 B 一之瀬 汀 岳

初夏の一日、温習会に参加し進行係をお手伝いさせて頂きました。当日舞台裏にて始めて感じたことですが、いつもなら自分の出番だけを気にして待つ身でした。

進行係は舞台の吟者がスムーズに吟詠できるように、お手伝いするのが役目ということもやっと解りました。

自分の出番より早く舞台裏に待つ人、遅れてくる人といろいろでした。私は舞台上の番

号札の受持でドキドキしてプログラム番号の順を間違えて、番号札を逆にしたたり、まったく自分の出番を待つと同じでした。

大会の時はいつも役員になる方々がおりますが、会員の皆様次はあなたの番です。是非沢山のお役をやってみてください。

俳句

陰の力で素晴らしい大会となりますように。

真澄 高橋 之風

物干しは女の世界釣忍

息を抜くことを教わる軒風鈴

入会

506 鎗光和博 逗子市沼間二一九一五一一八二

(逗子A) ☎〇四六八一七二一〇四五

507 長島芳子 葉山町一色八六九一四

再(一色) ☎〇四六八一七五一一三七三六

508 米山直廣 横須賀市坂本町二一二二

再(吟秀) ☎〇四六八一二四一一七〇一

編集後記

今年の梅雨は雨が多かったですためでしょうか。紫陽花の色が鮮やかです。七月に本年を振り返ってみる時、各種の行事が沢山あつて誠に多彩でした。盛夏を迎えましたのでご自愛の上、秋の審査に備えて下さい。